

薬剤名 〇〇1キロ粒剤  
 県名 〇〇県

実施場所: 普及所等の  
 名称と、実施市町村を

作物 移植水稻  
 実施場所 〇〇普及センター(〇〇市)

区分 一発処理

区分: 技術確認圃の  
 申請書の区分に従う。

土質土性 沖積・埴壌土  
 減水深 1cm/日  
 標高 80 m

標高: 確認している場  
 合のみ記載。

品種 コシヒカリ  
 作期 普通期  
 栽培方法 稚苗機械移植

植代日 平成〇〇年5月15日  
 移植日 平成〇〇年5月20日  
 移植苗草丈・葉齢 12.4 cm、2.5葉

処理時の作物の状況

圃場 (面積)	処理 回数	薬剤名 薬量(水量)(/10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃 (30a)	処理 1回目	〇〇1キロ粒剤 1kg	5月20日 (±0)	田植同時 0cm→3cm	2.5L	未発生
	処理 2回目	△△△液剤 1000mL(100L)	7月1日 (+42)	動力噴霧機 0cm	-	オモダカ 20cm
	処理 3回目	□□1キロ粒剤	5月20日 (+0) 7月1日 (+42)	動力散粒機 3cm 動力噴霧機 0cm		20cm

雑草調査後に慣  
 行防除で散布した  
 除草剤があれば  
 ( )で記載する。

移植後日数:  
 移植日を0とした日数を記  
 載する。田植同時処理は  
 (±0)として、移植直後処  
 理(+0)と区別する。

乾物重、生体重のいずれかを記載する。

処理時水深:  
 田植同時処理、水口処理で  
 は処理時と入水後の水深を  
 記載する。

移植後の日数を記載する。

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m <sup>2</sup> ))				ホタル ルイ	雑草調査日: 6月30日 (+41)		総計 (段()は慣行区比)	症状・程度	収量比 対慣行	評点
	ノビエ	カヤツ リグサ 類	コナ ギ	アゼ ナ		クログ ワイ	(オモ ダカ)				
確認圃	1.2	0	0	0.1	t	0.1	(13.5)	1.4 (64%)	無	100%	A
慣行	1.4	0	0.5	0.1	0.1	0.1	(20.2)	2.2			

残草した雑草  
 の草種名を記  
 載する。

0.1未満はtと記載す  
 る。

総計  
 上段: 残草量  
 下段: 慣行区比

適用登録外の作物でも、発生が目立つ場合は( )で記載する。

無処理区での発生雑草(発生程度)

ノビエ、コナギ(多) 発生量が多い場合は(多)を記載する。

備考(特記事項等):  
 処理2日後に降雨(〇〇mm)があり、若干オーバーフローした。  
 田面が高く露出したところでノビエが残草した。

備考:  
 残草が多い場合、問題となる薬害が発生した場合は詳細を記載する。  
 気象条件、水管理、雑草発生状況等で通常と異なることがあれば記載する。  
 農家のコメントがある場合は記載する。

薬剤名  
県名

〇〇〇ジ  
〇〇県

フォント(書体)は記入部分が  
目立つように変えています。  
実際は明朝体などを使用し  
て下さい。

作物 移植水稻  
実施場所 〇〇普及センター(〇〇市)

区分 体系処理(初期)

土質土性  
減水深  
標高

洪積・砂壤土  
1cm/日  
—

作期  
栽培方法

コシヒカリ  
早期期  
稚苗機械移植

植代日 平成〇〇年4月17日  
移植日 平成〇〇年4月22日  
移植苗草丈・葉齢 12 cm、2.1葉

圃場 (面積)	処理 回数	薬剤名 薬量(水量)(/10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	生育程度	処理時の状況
						雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃 (10a)	処理 1回目	〇〇〇ジャンボ 10個(300g)	4月23日 (+1)	畦畔から 5cm	2.2L	未発生
	処理 2回目	△△△フロアブル 500mL	5月21日 (+29)	畦畔から投入 5cm	3.6L	/ビエ 発生始
	処理 3回目					
慣行 (10a)	処理 1回目	〇〇フロアブル 500mL	4月23日 (+1)	畦畔から手振り 5cm	2.2L	未発生
	処理 2回目	△△△フロアブル 500mL	5月21日 (+29)	畦畔から投入 5cm	3.6L	/ビエ 発生始、ホタルイ 発生始
	処理 3回目					

乾物重、生体重のいずれかを記載する。

移植後の日数を記載する。

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m <sup>2</sup> ))				雑草調査日: 6月16日 (+54)			薬害		評点	
	ノビエ	カヤツリグサ類	一年生広葉		ホタルイ	多年生雑草		総計 <small>(下段()は慣行区比)</small>	症状・程度		収量比 対慣行
確認圃	2本	0	残草量が少なく重量の計算が 困難な場合は、本数調査でも 良い(本数調査であることがわ かるよう単位を記入する)。		5本			0.3 (60%)	無	100%	A
慣行	5本	0			4本			0.5 (100%)	無	100%	

無処理区での発生雑草(発生程度):

/ビエ、ホタルイ、アゼナ、コナギ

備考(特記事項等):

確認圃は、前年度に雑草が多く残草した圃場であったが、除草効果は

備考:

残草が多い場合、問題となる薬害が発生した場合は詳細を記載する。  
気象条件、水管理、雑草発生状況等で通常と異なることがあれば記載する。  
農家のコメントがある場合は記載する。

薬剤名  
県名

〇〇フロアブル  
〇〇県

栽培方法: 湛水直播および乾田  
直播のいずれかを記載する。

作物  
実施場所

直播水稻  
〇〇普及所(〇〇町)

区分 直播栽培

土質土性  
減水深  
標高

火山灰・壤土  
2cm/日  
53m

品種  
栽培方法  
播種方法

ヒノヒカリ  
湛水直播栽培  
土中播種(カルパー)

植代日  
水管理

平成〇〇年5月5日  
播種後に水深3cmまで入水し、その後自然落水した。平成  
〇〇年5月23日に再入水した。

播種日 平成〇〇年5月8日

圃場 (面積)	処理 回数	処理方法、処理時水深	処理日 直後日数	作物生育程度	処理時の状況 (雑草発生の草名・草丈・葉齢・発生程度)	
					雑草発生	雑草発生
確認圃 (10a)	処理 1回目	■ 1キロ粒剤 1kg	5月8日 (±0)	播種同時 0cm→3cm	出芽前	未発生
	処理 2回目	□ フロアブル 500mL	5月28日 (+20)	畦畔から手振り 5cm	1L	/ビエ 2L
	処理 3回目					
慣行 (10a)	処理 1回目	■ 1キロ粒剤 1kg	5月8日 (±0)	播種同時 0cm→3cm	出芽前	未発生
	処理 2回目	○ フロアブル 500mL	5月28日 (+20)	畦畔から手振り 5cm	1L	/ビエ 2L、ホタルイ 2L(多)
	処理 3回目					

播種方法: コーティング資材についても記  
載する。

水管理: 播種から再入水までの水管理を  
記載する。(乾田直播では入水日を記載  
する。)

発生量が多い場合は雑草  
名の跡に(多)を記載する。

乾物重、生体重のいずれかを記載する。

播種後の日数を記載する。

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m <sup>2</sup> ))						雑草調査日: 6月25日 (+48)		薬害		評点
	ノ ビ エ	カヤツ リガサ 類	コナ ギ	アゼ ナ	ホタ ルイ	オモ ダカ	総計 下段()は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行		
確認圃	0		+					なし	100%	A	
慣行	0		+					なし	100%		

無処理区を設置できなかった場合は、「周辺圃場での発生雑草」を記載する。  
(記入例)

※ノビエ、※コナギ、※アゼナ、※ホタルイ (※は周辺圃場で発生した雑草)

無処理区での発生雑草(発生程度):

ノビエ、コナギ、アゼナ、ホタルイ、オモダカ、クサネム、キシユウズ

備考(特記事項等):

備考:

残草が多い場合、問題となる薬害が発生した場合は詳細を記載する。  
気象条件、水管理、雑草発生状況等で通常と異なることがあれば記載する。  
農家のコメントがある場合は記載する。